

2017年(平成29年)度  
帰国生入学試験のための  
参 考 資 料

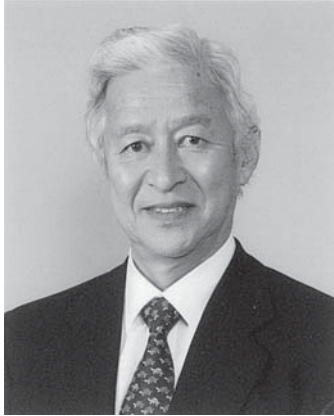


しょう  
頌

えい  
栄

女 子 学 院





校長 岡見 清明

頌栄では、今から30年前の1986年から帰国生の受け入れを開始しました。このきっかけは、私の父である前院長の姉2人が、昭和初期としては珍しい帰国生であったことが大きく影響したのではないかと思います。

保護者の仕事の関係で小学校時に海外で教育を受け、帰国して日本の中学で学ぶには大きな壁があります。日本では私立中学入試のため、多くの小学生が4年生頃から塾に通い、入試の準備をしています。帰国生がそのような生徒と同じ土俵で試験を受けて合格をするのは、とても難しいことと思われます。そうした帰国生を救済する意味もあって、頌栄では中学入試の選抜に、英語による試験を取り入れました。

頌栄の中学1年は、1週間に6時間の英語の授業があります。帰国生クラスはその内4時間がネイティブスピーカーの先生による授業で、2時間が日本人の先生による授業です。日本人の先生も元々帰国生であったり、海外の教育機関で学んだ経験を持つ者が大半です。

英語の授業以外はすべての生徒が同じ授業を受けるので、英語の試験で入学した帰国生がついていくにはそれなりに努力が必要です。しかし、保護者の皆さんが長い目で見て下さり、辛抱強く応援して下さいれば、高校生になる頃には、その差は殆どなくなると思います。その間、私たちも最大の努力を惜しみませんので、わからないことは積極的に質問してほしいと思います。

個々の生徒の良い面を伸ばし、苦手な分野を少しでも減らしていきたいと思えます。大事なことは、生徒を中心にご家庭と学校が信頼関係を基に、お互いに協力しあって、生徒の成長を見守ることです。

高校2年生からは大学受験に備え、文理コース別のカリキュラムになります。英語の授業も習熟度別になるので、帰国生と一般生との区別は無くなります。それぞれが希望する将来に向けて、進路を決めていきます。

# 2017年(平成29年)度 中学校帰国生 生徒募集要項

## 〔受験資格〕

保護者の転勤に伴い海外に在住し、2年以上英語圏の現地校に在籍した帰国生。

英語圏でない場合は、2年以上現地のインターナショナル・アメリカン・ブリティッシュスクール等（英語で授業が行われる学校）に在籍した帰国生。尚、原則として帰国後3年以内である者。※在学期間は、海外の新学期（9月）から学年末（6月）までの在籍を1年と計算してよい。

## 12月入学試験

2017年(平成29年)度 中学校帰国生 生徒募集要項	
募集人員	特に定めず
試験日時	2016年(平成28年)12月10日(土) 午前8時20分集合 2016年(平成28年)11月14日(月)～11月25日(金) 午前9時～午後4時〈11月20日(日)・23日(水)を除く〉
出願手続	<p>出願時には、下記の書類を本校事務所受付まで直接提出してください。 (遠隔地より郵送出願をご希望の方は、事前に事務所へお問い合わせください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 入学願書等所定の書類</li> <li>② 通知表のコピー（日本の小学校に在籍していなければ不要）</li> <li>③ 現地校の成績表のコピー（2年分）</li> <li>④ 海外在留証明書 (願書一式内にある本校指定の用紙をご使用ください。ご使用できない場合は、出願前に必ず本校事務所までお電話にてお問い合わせください。)</li> <li>⑤ 受験料納入証明書</li> </ol>
受験料	出願前に受験料20,000円を銀行で本校所定の用紙で振り込み、 受験料納入証明書を受け取ってください。
合格発表	2016年(平成28年)12月11日(日) 午前9時～正午 本校校舎内掲示
試験内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語（筆記・英会話）</li> <li>● 面接（保護者同伴）</li> </ul>
入学手続	<p>2016年(平成28年)12月12日(月) 午前9時～午後3時 入学手続時には、下記の書類と納入金が必要になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 保証書（所定の用紙）</li> <li>② 入学金 未定（平成28年度450,000円）</li> </ol> <p>※期限内に手続が完了されない場合には、入学許可を取り消します。 ※提出された書類や納入金は、お返しいたしません。 ※3月27日(月)に「新入生オリエンテーション」があります。</p>

## 2月入学試験

2017年(平成29年)度 中学校帰国生 生徒募集要項	
募集人員	特に定めず
試験日時	2017年(平成29年)2月1日(水)午前8時20分集合
出願手続	2017年(平成29年)1月20日(金)～1月27日(金) 午前9時～午後4時〈1月22日(日)を除く〉
	出願時には、下記の書類を本校事務所受付まで直接提出してください。 (遠隔地より郵送出願をご希望の方は、事前に事務所へお問い合わせください。) ① 入学願書等、所定の書類 ② 通知表のコピー(日本の小学校に在籍していなければ不要) ③ 現地校の成績表のコピー(2年分) ④ 海外在留証明書 (願書一式内にある本校指定の用紙をご使用ください。ご使用できない場合は、出願前に必ず本校事務所までお電話にてお問い合わせください。) ⑤ 受験料納入証明書
受験料	出願前に受験料20,000円を銀行で本校所定の用紙で振り込み、 受験料納入証明書を受け取ってください。
合格発表	2017年(平成29年)2月2日(木)午前9時～正午 本校校舎内掲示
試験内容	● 英語(筆記・英会話) ● 面接(保護者同伴)
入学手続	2017年(平成29年)2月2日(木)午前11時～午後3時 2017年(平成29年)2月3日(金)午前9時～正午 入学手続時には、下記の書類と納入金が必要になります。 ① 保証書(所定の用紙) ② 入学金 未定(平成28年度450,000円) ※期限内に手続が完了されない場合には、入学許可を取り消します。 ※提出された書類や納入金は、お返しいたしません。 ※3月27日(月)に「新入生オリエンテーション」があります。

※帰国生入試は、12月帰国生入試と2月帰国生入試(2月1日実施)の2回です。  
一般入試とは日程が異なりますので、ご注意ください。  
(一般生入試は、第1回(2月1日実施)と第2回(2月5日実施)の2回です。)

## 「帰国生をどのように受け入れ、どのように育てるか」

本校は創立130年以上の長い伝統を誇る学校です。また、早くから帰国生を積極的に受け入れてきた学校としても知られています。特に創立100周年以降は、帰国生の占める割合が飛躍的に伸び、この15年間はほぼ全校生徒の20%が帰国生という状態を堅持しています。

どうして帰国生を受け入れるようになったか。それは帰国生のもつ素晴らしい資質に早くから注目していたからに他なりません。一時的にしろ、日本文化から離れ、全く違った価値観の中で育った経験は、これからの国際社会を生き抜く上で大きな財産となります。またそうした異文化の中で世界を見てきた経験をもつ帰国生と共に学ぶ一般生にとっても大きな刺激となります。互いがそれぞれの長所を引き出しあえる関係、それこそが頌栄女子学院の目指す「国際的感覚をもった人間形成」に繋がります。

帰国生が帰国生らしさを発揮するためには、同じような経験をもつ仲間が身近にいることが必要です。本校では20%の帰国生を5クラス中、3クラスに分散し、一般生との混合クラスを作っています。そうすることにより、クラスの1/3強が帰国生という環境が整います。本校の帰国生は誰に遠慮することなく身につけた英語を使い、明るくポジティブな帰国生の特質を保ち続けることができます。この「クラスの1/3強」という絶妙の割合が、ある種の化学反応を起こさせ、一般生と帰国生それぞれの持ち味を何倍にもして引き出し合います。

帰国生はよく、「自己主張が強い」、「協調性に欠ける」などと言われることがありますが、これはステレオタイプの誤ったイメージだと思えます。むしろ、帰国生は異質な者に対して一般生よりずっと鷹揚で寛大です。これは彼ら自身が、懐の深い、歴史に裏打ちされた欧米型の個人主義によって少数者としての尊厳を守られた経験をもっているからではないでしょうか。「私は私でありたい」という思いが強いからこそ、他者を他者として認める素地ができています。集団における調和を偏重するあまり、目立つ者、異質なものを排除しがちな文化の影響を受けて育った一般生にとって、「ありのままの自分」を認め合う個人主義の大らかさは、非常に新鮮で、また心地よいものとなります。

頌栄生の80%近くを占める一般生は、少なくとも中学3年間に一度はこの「混合クラス」を体験できるよう配慮され、クラス替えが行われます。中1の間でこそ顕著だった「混合クラスの特質」は、学年が進むにつれ全体に広がり、やがて学校全体が混合クラスの特質を持つようになります。すなわちこれが、頌栄のスクールカラーと呼ばれるものだと思います。

よく頌栄の生徒は「明るく元気」というイメージを持たれますが、全員が同じように陽気な性格という意味ではありません。むしろ、実に様々な個性の生徒が頌栄には存在します。その一人一人が自分らしく、自然に振る舞える環境が生徒の表情を生き活きと輝かせ、「明るく元気」な



イメージに繋がっているのではないのでしょうか。神様が一人一人の生徒に備えてくださった「たまもの(タラント)」を大切に育て、社会のために貢献、奉仕できる人材を育成することが本校の掲げる大きな教育目標です。

一般生が帰国生と机を並べることによって多くのことを学んでいることは論を俟ちませんが、帰国生にとっても同じことが言え

ます。頌栄の帰国生は一般生から多くの刺激を受け、たくさんのことを吸収しようとします。もし帰国生だけが固まっていたら決して気付かなかった可能性を、一般生と共に学ぶことによって自分の中に発見することができます。例えば、それまで英語を生かすこと以外に自己表現の方法を想像できなかった生徒が、一般生の友達と交わることによって、新たな視界が開け、理系の進路や国公立受験を目指すようになることは珍しくありません。一般生と帰国生がよきライバルとし、ときには良き理解者として互いを励まし高め合う関係が頌栄の中ではしっかりと根付いています。

帰国生はすでに国際人としての資質を十分備えています。しかし、帰国生がどれほど自分たちの中にある欧米的なものを意識しても、日本人であることに違いありません。本校は、帰国生の国際人としての資質を大切にしながらも、日本人としての教育をきちんと与える学校です。

本校の帰国生は、伝統武芸である弓道や日本舞踊、茶道、華道といったクラブ活動、さらには高3で行われる礼法の授業に、高い関心を示します。帰国生である自己が何ものにも脅かされず安定しているから、未知のもの、異質なものへの純粋な好奇心が働き、良いものを意欲的に取り入れようとする積極性が生まれるのだと思います。その積極性こそが本校の帰国生の大きな魅力となっています。

もし欧米の価値観しか会得できないまま国際社会に出れば、日本人であることが彼女らの弱みとなってしまいます。しかし、日本の文化や感性をしっかりと身につけるなら、日本人であることは彼女らの強みとなります。創立130年を超える本校の伝統は、帰国生に大きな強みを与えていると確信しています。

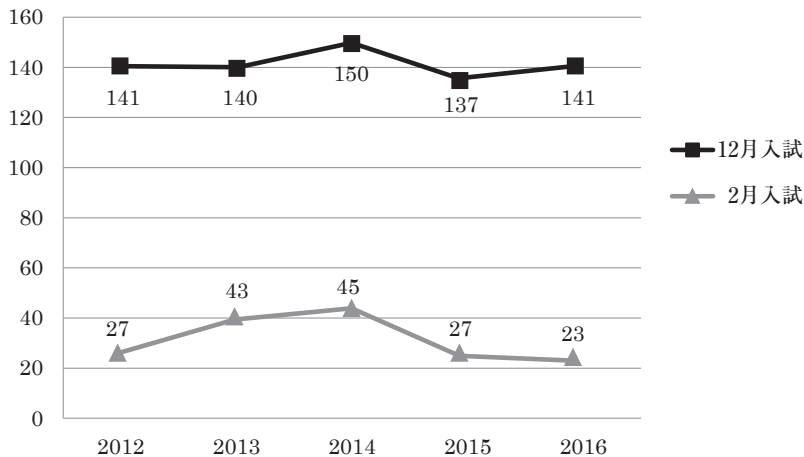
## 試験について

- 1 英語筆記試験は英語で出題され、現地小学校6年程度の英文が、読み書きできるかを問う問題。  
英語 I (Writing Task) 40 分、英語 II (Reading Comprehension, Grammar & Vocabulary) 40 分
- 2 英会話試験は個別。(受験生一人で、一般的会話だけではなく英語力を問うもの)
- 3 面接は、保護者同伴で行う。

### ◆ 2016 年 (平成 28 年) 度 帰国生入学試験状況

	12月帰国生入試	2月帰国生入試	合計
出願者	141名	23名	164名
受験者	139名	22名	161名
合格者	83名	11名	94名

### ◆ 過去 5 年間応募者数の変化



## 合否判定

- 1 英語の試験は「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能すべてについて出題される。  
採点は、文法力、理解力、作文力、単語力など数項目にわたって行い、100点満点で判定する。
- 2 英会話試験は、質問したことへの理解力、発言の内容、正確さ、表現力など、数項目について判定する。
- 3 合否は提出書類その他を参考にし、総合的に判定する。



## 英語筆記試験

I	WRITING TASK	
	(A Fiction)	20 点満点
	(B Non-fiction)	20 点満点
II	READING COMPREHENSION	30 点満点
	GRAMMAR & VOCABULARY	30 点満点
合 計		100 点満点

### 英語筆記試験（I WRITING TASK）採点表

EXCELLENT (20~16)	The student has a native speaker or near native speaker knowledge in the correct use of English. There are no or only minor grammar mistakes, the vocabulary is appropriate to the topic in question, spelling is fine and the sentence structure and flow of the writing are a pleasure to read.
GOOD (15~11)	This student's knowledge of English is adequate and she has no problem in communicating her thoughts, ideas and opinions. There are, though, some grammar mistakes which impair understanding and the vocabulary is not always appropriate. The syntax is not quite of native or near native level and may be a little awkward. However, the student has enough ability to show that she would be perfectly capable of entering a returnee class where she could eliminate her minor defects and continue to make progress in learning English.
FAIR (10~6)	This student has obviously learned a lot of English while abroad but has not absorbed it thoroughly enough to make coherent use of it. There are a lot of grammar mistakes and misuse of vocabulary that make it difficult for the reader to follow the flow and to understand completely what the student is trying to say. Structures and vocabulary may also be too simple. It would be difficult for this student to improve her English unless her motivation was extremely high.
POOR (5~1)	A lack of understanding in the basic tenets of how to write English sentences. Bad grammar and spelling, inappropriate or too simple vocabulary, sentences which do not always make sense. This student has not been exposed to enough natural English to enable her to express herself adequately in it. There would be too much remedial work involved for this student to enter a returnee class.

※ [A]Fiction [B]Non-fiction とともに同じ基準を用い、それぞれ 20 点満点で採点します。

## I WRITING TASK

In this section you will be asked to write one piece of fiction and one piece of non-fiction.

### A Fiction

Write an original story titled “The Cat That Was Afraid of Mice.” Write between \*20-25 lines in the given space on your answer sheet. Do not write on the back. You may use the memo box to organise your ideas.

### B Non-fiction

Write about the following topic: “A Memorable Festive Occasion”

Write between \*10-15 lines in the given space on your answer sheet. Do not write on the back. You may use the memo box to organise your ideas.

\* 解答用紙は、それぞれ B4 サイズ 1 枚で、罫線が引いてあります。

## II READING COMPREHENSION

Read this passage and answer the questions in English.

### A. Passage:

#### The Cleverest Man on Earth

Have you ever seen the film, *Rain Man* made in 1988? It tells the story of two brothers who find each other. Their father has died, <sup>(1)</sup> leaving his fortune to his elder son Raymond (Dustin Hoffman), a man who lives in a care home for people with development disabilities and doesn't even know what money is. To Charlie, his younger son (Tom Cruise), who wants the money very much and doesn't care much about anything or anyone else, he leaves only his old car. The character Raymond is unusual in two ways. Firstly, he is autistic. Secondly, he is a savant.

Autism is a brain disorder. It happens when part of the brain is damaged before the baby is born. It affects the three most important areas of development: communication, social interaction, and creative or imaginative play. People who are autistic cannot relate to other people or interact with them emotionally. They do not love, like or hate people, and they do not play. They live in a world of strict routine and <sup>(a)</sup> obsessions and become extremely nervous if the routine is changed.

A savant is someone who has exceptional knowledge and skill in certain areas, cleverer than a genius. In the movie, Raymond is a brilliant mathematician. When a box of toothpicks falls off the table, Raymond has already counted them by the time they reach the floor.

Dustin Hoffman, who plays the part of Raymond and won an Oscar for it, says that he became an actor because he was a lazy student who <sup>(2)</sup> failed all his exams and didn't like studying. But the truth is

he works very hard as an actor. To prepare for the film *Tootsie*, he often went shopping and carried on his life dressed as a woman (noting with surprise how people <sup>(3)</sup>\_\_\_\_\_ women differently from men), and to portray a president who was extremely tired, he did not go to bed for three days. A more traditional actor, looking at the exhausted Hoffman, dirty and unshaved, said, “Why don’t you just *act*, dear boy?”

Thus it was that when he was preparing for the film, *Rain Man*, Hoffman spent a lot of time with several savants and autistics. One of them is called Kim Peek, who lives with his father, Fran. Both Kim’s parents are ranked genius, but Kim is a mega-savant, an amazing genius in about 15 different subjects, from history, literature and geography to numbers, sports and music. However, he is not autistic, although he cannot live like ordinary people.

At age 16-20 months Kim was able to memorize every book that was read to him. He would memorize a book after hearing it just once and then put the book aside, upside down, so that no one would attempt to read it to him again. He has now read, and can recall completely, some 9,000 books.

At age three Kim asked his parents what the word <sup>(b)</sup>“confidential” meant. His father told him jokingly to look it up in the dictionary. He still couldn’t walk yet, and his father describes how he <sup>(6)</sup>put his head down and crawled like a snow plough over to the desk, pulled himself up and about thirty seconds later said, “I’ve found it.”

Kim was born in 1951, with a very big head. Instead of a brain in two halves with a connection between like most people, his brain was just one. It means he has unusual abilities, but also unusual difficulties. He cannot brush his teeth without help and eats and drinks like a child even now. He did not walk until age four. At that age he had memorized the first eight volumes of a set of encyclopedias, but no school would take him. He can read a page in ten seconds, and then never forget it. But he cannot dress himself and if asked to put some knives and forks on the table at home he can’t find the drawer. Doctors labeled him a ‘mentally retarded’ and advised his parents to put him in an institution and later have his brain operated on (which might have made him a vegetable). Instead they took him home and <sup>(4)</sup>in\_\_\_\_\_ him to books.

At that time he was also obsessed with numbers and arithmetic, reading telephone directories and adding columns of telephone numbers. He enjoyed totaling the numbers on automobile license plates as well.

There are other savants in the world, but Kim is unique. He is believed to be the cleverest man in the world. No one else has his amount of memory or can recall with such speed and accuracy. Each of his eyes can read a separate page <sup>(c)</sup>simultaneously, absorbing every word. And he will never forget anything. NASA scientists are studying him because they want to make a brain like his for a satellite. People call him “Kimputer” as a joke. He is much loved in his small town.

He also loves music, and has started playing the piano with a music professor who is amazed at his abilities. She said, <sup>(ii)</sup>“Kim will have heard a recording of a symphony once as a little boy, he will then hear it again now at age 53 and if there’s a mistake, he will note it.” He will say, “The second trombone player came in a few moments late.” His father takes him to concerts and the theatre. Once at a Shakespeare play the actor missed a verse and Kim suddenly stood up and cried, “You’ve

got to stop it, stop it, stop it!” The actor was embarrassed and apologized, and said “I didn’t think it mattered.” Kim said, “It mattered to William Shakespeare, it should matter to you.”

Because he looks strange and was too frightened of people to look at them, Fran used to <sup>(5)</sup>h\_\_\_ Kim away from society. It was Dustin Hoffman who urged him to take Kim out into the world. It changed him completely. He developed a sense of humor and loves meeting people. He will suddenly go to people and hug them. “It is since *Rain Man* that Kim’s mind became connected to his heart,” says Fran. “Now I think his heart is bigger than his brain.”

**B. Questions: Write the answers on the answer sheet.**

MULTIPLE-CHOICE QUESTIONS: Choose one correct answer from A to D.

1. Which sentence is true about Dustin Hoffman?
  - A. He is a lazy actor.
  - B. He wanted to be a brilliant mathematician.
  - C. He likes to dress as a woman.
  - D. He became acquainted with Kim.
  
2. In what way is Kim different from Raymond?
  - A. He is not autistic.
  - B. He is a savant.
  - C. He wants money.
  - D. He can brush his teeth.
  
3. Look at line (i). What does it mean?
  - A. He ran to the desk.
  - B. He moved strongly and as fast as he could.
  - C. He moved very slowly.
  - D. His father carried him.
  
4. NASA scientists are studying Kim because
  - A. he is good at computers.
  - B. he is much loved in his town.
  - C. they want to help him live like ordinary people.
  - D. they are interested in his brain.
  
5. Look at line (ii). What does the author mean?
  - A. He heard the music once in his life.
  - B. He heard the music twice in his life.
  - C. He heard the music many times in his life.
  - D. He does not like to hear the same music many times.

6. WHAT DO THESE WORDS MEAN? : Choose one correct answer from A to D.

- (a) obsession :      A. fixation          B. hatred                  C. movement          D. rules  
(b) confidential:    A. faith                  B. belief                  C. private              D. comfortable  
(c) simultaneously : A. correctly          B. at the same time    C. quickly              D. respectively

7. COMPLETE THE WORDS : Fill in the blanks. The first letter(s) is (are) given.

- (1). I \_\_\_\_\_      (2). f \_\_\_\_\_      (3). t \_\_\_\_\_  
(4). in \_\_\_\_\_      (5). h \_\_\_\_\_

8. COMPREHENSION QUESTIONS : Answer in one sentence.

- (1). Why is Charlie jealous of his brother?  
(2). Why is Kim believed to be “the cleverest man in the world”?

### III GRAMMAR & VOCABULARY

**A. Choose a word from each of the boxes below. Do not use the same word twice unless it appears twice in the box. You may change the form of the word in Box 1 if necessary. Capitalize the first letter if necessary.**

1. A: Put some more wood on the fire, please, Alan.  
B: Too late! It's (BOX1) (BOX2) .
2. A: What was the rock concert like?  
B: Didn't you hear? They had to (BOX1) it (BOX2) because the lead singer was ill.
3. A: Did Mr Bryan punish you for not doing your homework?  
B: No, he (BOX1) me (BOX2) this time.
4. A: Your daughter's very musical, Mrs Kimble.  
B: Yes, I know. She (BOX1) (BOX2) her father. He's a musician.
5. A: Anne's being very nice today.  
B: I know. She's probably trying to (BOX1) (BOX2) for all the trouble she caused yesterday.
6. A: Oh, no! It's started raining!  
B: Don't worry. it'll (BOX1) (BOX2) soon.
7. A: Is that Peter's mother over there?  
B: No, it's his aunt. She (BOX1) him (BOX2) actually. His parents died when he was two.
8. A: You're looking very fit these days, Harold.  
B: Yes, I'm a new man, Peter, since I (BOX1) (BOX2) jogging. You should try it too some time.
9. A: You didn't phone me last night!  
B: I know. I'm very sorry but I didn't (BOX1) (BOX2) until midnight.
10. A: These trousers don't fit!  
B: I'm not surprised. You've (BOX1) (BOX2) at least two kilos since you last wore them.

BOX 1

clear / let / bring / take / put / call / go / make / take / get

BOX 2

after / out / in / on / off / off / up / up / up / up

**B. Choose the correct answer from A, B, C or D. Only one answer is correct.**

1. "How far is it?" "Oh, I forgot to ask John ( )."  
A. how far is it    B. how far it is    C. it is far    D. is it far
2. I ( ) a letter when John called on me, and asked him to wait until I finished it.  
A. wrote    B. has written    C. had written    D. was writing
3. I shall never get used ( ) on the left.  
A. to drive    B. to driving    C. drive    D. driving
4. Anyone who lives alone has to look after ( ).  
A. himself    B. hisself    C. self    D. itself
5. How long ( ) to be a nurse?  
A. did you studied    B. are you studying    C. did you study    D. do you study
6. I've looked for my pen, but I can't find it ( ).  
A. anywhere    B. everywhere    C. nowhere    D. somewhere
7. If he ( ) come back by seven, leave without him.  
A. hasn't    B. isn't    C. didn't    D. wouldn't
8. I can't afford ( ) a new dress.  
A. buying    B. buying her    C. her buying    D. to buy her
9. I can hardly imagine ( ) abroad.  
A. him going    B. him go    C. him to go    D. him to be going
10. Hanako : It's been raining here for a week.  
Newcomer: Oh, ( )?  
A. does it    B. isn't it    C. has it    D. hasn't it

**C. Choose from A, B, or C, the correct meaning of the underlined expression in each sentence. Only one answer is correct.**

1. I did not acknowledge the truth of his words.  
A) recognize    B) guess    C) explain
2. She has great potential as a musician.  
A) performance    B) prophecy    C) possibility
3. He would never do anything to jeopardize his career.  
A) risk    B) skip    C) promote

4. It will be difficult to persuade him.  
A) trust                      B) convince                      C) please
5. His opinion often conflicts with mine.  
A) clashes                      B) assimilates                      C) classifies
6. We postponed our departure.  
A) put over                      B) put together                      C) put off
7. He has a prejudice for foreign goods.  
A) bias                      B) desire                      C) scheme
8. I support his theory.  
A) identity                      B) view                      C) style
9. He lacks confidence.  
A) needs                      B) has not enough                      C) already has
10. You have the accurate answer.  
A) similar                      B) wrong                      C) exact

[参考]

解答例

## II READING COMPREHENSION

1. D                      2. A                      3. B                      4. D                      5. B
6. (a). A                      (b). C                      (c). B
7. (1). leaving                      (2). failed                      (3). treated                      (4). introduced                      (5). hide
8. (1). Because his brother got all his father's money.  
(2). Because no one else has his amount of memory or can recall with such speed and accuracy.

## III GRAMMAR & VOCABULARY

A.

- 1) gone out                      2) call off                      3) let off                      4) takes after                      5) make up
- 6) clear up                      7) brought up                      8) took up                      9) get in                      10) put on

B.

- 1) B                      2) D                      3) B                      4) A                      5) C
- 6) A                      7) A                      8) D                      9) A                      10) C

C.

- 1) A                      2) C                      3) A                      4) B                      5) A
- 6) C                      7) A                      8) B                      9) B                      10) C

## [ 参 考 ]

### ◆入学後の生活について

#### 1) クラス編成

中学1年から高校1年までは、HR 5クラス中3クラスが帰国生と一般生の混合クラスで、各クラスには帰国生が15～20名程度在籍しています。高校2・3年は文理コース別のクラス編成です。

#### 2) 補習などの特別指導

国語・数学・社会などの各教科で、必要に応じて放課後の補習を実施しています。

各教科とも、帰国生の負担になりすぎないように学校生活に慣れてから実施するように配慮しています。

#### 3) 英語教育

海外生活で培った高い英語力を活かして、社会で活躍できる人材の育成を目指しています。ネイティブスピーカー担当の授業の様々な活動を通して英語力を保持伸長し、加えて日本人教員の授業で文法力や和訳力を強化しています。

中学校では、英語に週6時間が配当されており、うち2時間は日本人教員、4時間はネイティブスピーカーの教員による授業です。英語のクラスは帰国生のための少人数制です。

高校1年では、週6時間を配当（うち2時間がネイティブスピーカーによる授業）。中学校同様に帰国生のための少人数クラスです。

高校2・3年生では、学年を習熟度別に7クラスに分け、生徒個々の到達度に応じた効果的な学習指導を実施しています。習熟度別編成のクラス分けは、年度途中でも適宜行ないます。

#### 4) 帰国生の在留年数・在留先

本校に在籍している帰国生の海外在留年数は幅広く、2年間在留していた生徒もいれば、10年間以上の在留経験がある生徒もいます。在留先は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダなどの英語圏以外にも、イギリス以外のヨーロッパ各国や、中国、インド、シンガポールなどのアジア圏もあります。在留していた地域や年数によって、入試に不利になることはありません。

### ◆ 帰国生の在籍数 (上段が在籍総数・( )内がそのうちの帰国生数)

中 学 1 年	238名 (53)	高 校 1 年	231名 (57)
2 年	215名 (45)	2 年	219名 (51)
3 年	233名 (56)	3 年	208名 (47)
中 学 合 計	686名 (154)	高 校 合 計	658名 (155)
総 合 計	1313名 (296)	※2016年4月現在	



## 帰国生の英語の授業について（中学校）

### Native Speaker 教員の授業

週3時間の Four Skills Course と週1時間の Writing and Presentation Course があります。

#### Four Skills Course

英語の4技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）をバランスよく教え、実践するためのコースです。全学年共通テキストに加え、各担当者が選んだ教材を使用し、生徒のレベルや興味に合った授業を展開するよう、心掛けています。

#### Writing and Presentation Course

中学1年生で、収集した情報を取捨選択する力や、自分の考えを分かりやすく伝えるための構成力に加え、アイ・コンタクト等の一般的なプレゼンテーション・スキルを身に付けます。中学2年生では、学内のスピーチ・コンテストに向けてまとまった文章を書き、大勢の前で発表する力を身に付けます。中学3年生では、長めのエッセイや、フィクションに取り組みます。

Shoei returnees take four lessons a week with two native English speakers. These four hours are divided into two courses: a specialized writing and presentation planning course that meets once a week, and a four skills course that meets three times a week which covers reading, grammar, speaking and short writing assignments. Each course has a slightly different focus for each grade. Junior high school first year students are exposed to a wide range of materials, including several short stories and two novels for additional challenge. Book report presentations and debate skills are covered in detail as well. Junior high school second year students explore the natural world in English by reading social and natural science texts. They work on several projects throughout the year covering topics such as exploration of remote places, endangered species, and astronomy. In their third year, students expand their speaking and writing skills by thoroughly researching various topics for a student produced magazine. The magazine presents an interesting perspective on how students and their tastes have changed over the years. Students continue to be given guidance on how to express their opinions and ideas in writing and speaking in the form of presentations related to topics that the students themselves choose. In this way our returnees reinforce their confidence while they expand their understanding of the English language and maximize their communicative ability through writing, speaking, and research in English.



## 日本人教員の授業

授業は、週2時間あります。帰国生用のテキストを使用し、ディスカッションや短いプレゼンテーションを中心に、普段考えていることを共有し合い、お互いや自分自身に対する理解を深めます。意識的に、単語力の強化もしています。また一般生との共通のテキストを使用し、日本語力も身に付けながら、英語の文法力を身に付けます。

◆帰国生用共通テキスト（2016年度）＊下記以外にも使用するテキスト（副教材）があります。

Four Skills Course	<i>American English in Mind 3, Active Skills for Reading 2</i>
Writing and Presentations Course	<i>Weaving It Together Book 2, Weaving It Together Book 3, Write On Book 3</i>
日本人教員の授業	<i>The 7 Habits of Highly Effective Teens</i>

## 在校生の声

※アンケートでもっとも多かった声

◇帰国した当初一番不安だったこと、困ったこと 【無印…中1～3共通】



- ・勉強（授業）についていけるか英語以外の教科が心配
- ・友達ができるか いじめがないか 珍しがられないか
- ・日本語がうまく話せない 敬語が話せない
- ・漢字と文法【中3】
- ・英語を忘れてしまう【中2】
- ・地震【中2】
- ・文化や価値観の違い  
日本のマナーがわからない【中3】
- ・通学に車を使えない

・ホームシックにかかった（外国に戻りたかった）【中2】

◇頌栄に入学して良かったこと 【無印…中1～3共通】

- ・共通の経験をもつ帰国生がいることで不安が解消、英語がたくさん話せる
- ・同じ趣味の帰国生がいて友達になれた すぐ友達ができた
- ・一般生が色々教えてくれる ・クラスメイトが明るい
- ・一般生と帰国生が助け合っている
- ・みんな優しくていじめが起こる環境ではなく安心した【中2】
- ・入学してから色々なことを両立できるようになった（勉強と部活等）

- ・わからないことを先生が丁寧に教えてくれる わかりやすく説明してくれる
- ・部活がすごく楽しい【中2】
- ・勉強を基礎から教えてくれるので一般生との差が縮まった【中2】
- ・他の学校に入学していたらできなかつただろうことをいっぱい体験できた【中2】
- ・小学生の時より友達が増えた【中2】 良い友達に恵まれた【中3】
- ・周りが勉強するので自分も影響されて勉強するようになった【中2】
- ・帰国生が多いので身についた文化を完全に無くさなくて良くなった【中2】
- ・先生が生徒のことを思っている サポートはとても心強い【中2】
- ・帰国生のレベルに合わせた英語の本がたくさんある【中2】
- ・他の帰国生と話すことで発音や自然な英語力が伸びたと思う【中2】
- ・日本人としての常識を少しずつ身につけられている気がする【中2】
- ・日本語力を向上させつつ英語力も向上できる【中2】
- ・日本での生活が楽しくなった【中2】
- ・部活と行事（Co-Learners' Day や Shoei Field Day）に向けた練習が楽しい【中3】

## 卒業生の声

～帰国生として頌栄に入学して良かった点～

### アメリカに3年在住 I.M.さん

英語をもっと好きになれたことです。帰国生の英語の授業は、高度な英語力を身につけるような学習をし、時には映画を観たり、スピーチ、ディベートをしたりと、帰国生だからできる内容を受けることができます。多様な方法で英語に触れることができるのは、帰国生の受け入れに歴史をもつ頌栄だからこそです。頌栄の英語の授業は本当に楽しく、受けていて飽きません。英語が好き な子が集まる場として最適な環境だと思います。

### イギリスに6年在住 M.T.さん

色々な人がいて、いろいろな友達ができたと。当たり前だと思っていたことが覆ることも多く、視野がすごく広がりました。6年間通っていても突然新たなことに気付かされることも多く、毎日がとにかく楽しいです。ネイティブの先生がたくさんいることも魅力だと思います。一緒に英語の本を買いに行ったり、授業の中で実践的な英語を学べたり、帰国生が多い学校ならではの勉強の仕方でも英語の実力を維持することができました。

### フィリピンに4年在住 K.A.さん

同じ頃に海外で過ごした経験を持った友達は分かり合える点が多く、勉強面やそれ以外でも似たような悩みや疑問を持っていたので、6年間でお互いにたくさん相談したり、助け合えたことはとても大きかったです。英語の授業は高校1年生までの4年間は帰国生のみで、入学前には英語力が落ちてしまったらどうしようと不安でしたが、その心配は無用でした。頌栄に入っていなかったらここまでキープできていなかったと思います。また、一般生と帰国生が互いに自分の得意分野を教え合い、常に刺激し合い、良い影響を与え合ってみんなで向上できたのは頌栄だからこそできたことでした。

Returnees' Course Design and Can-Do List Four Skills Course (3 classes per week)			
	Contents & Textbooks	Goal (Descriptive)	Examples that signify the achievement for each grade
Jr.1	<p>Teacher's Name</p> <p>Denise Olivieri</p> <p>Active Skills for Reading 2 (main text)</p> <p>Novels(2)</p> <p>Short Stories</p> <p>Newspaper Articles</p> <p>Book Report</p> <p>Debate</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>to review basic grammar</li> <li>to expand comprehension of various topics and themes using relevant vocabulary</li> <li>to reinforce all of the above through reading, writing and discussion</li> </ul>	<p>Students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>correctly use various tenses, ex: present vs. present continuous, simple past vs. present perfect / past continuous / past perfect / present perfect continuous, future. Also, tag questions, comparatives.</li> <li>use new vocabulary in comprehension activities; identify main ideas, summarize and give opinions on various topics in readings and documentaries.</li> <li>present a book report</li> <li>use debate format in small-group debates</li> </ul>
Jr.2	<p>Teacher's Name</p> <p>John Presley</p> <p>American English in Mind 3 (Unit 6 – 10)(main text)</p> <p>National Geographic Reading Explorer 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>to introduce new themes and ideas in English</li> <li>to expand the student's comprehension and vocabulary of these ideas</li> <li>to give them more opportunities to discuss and express their opinions about these themes (mainly natural world themes)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>in class group readings to work on pronunciation of new words</li> <li>discussions to get them thinking, usually with some follow up writing to help them cement their ideas example: UNIT 1, the teenage brain and addiction -&gt; vocab related to the topic and discussion of social issues related to the topic. Reading comprehension and Q&amp;A to get them thinking.</li> </ul>
Jr.3	<p>Teacher's Name</p> <p>Adrian Thomas</p> <p>American English in Mind3 (main text)</p> <p>Magazine Making</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>to improve communication skills</li> <li>to encourage working as a team</li> <li>to continue to expand the student's vocabulary and teach them the use of language and structure</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>learn the language of discussion in order to enable them to talk about matters relating to current affairs.</li> <li>prepare and present a 'radio show' on a particular place or event: they will create a magazine which will be available for all the students in Shoei to read.</li> <li>by the end of Jr. 3, students will be able to use reported speech, use all types of conditional sentences, a wide range of phrasal verbs and have the ability to use a variety of sentences using different types of relative clauses.</li> </ul>

Returnees' Course Design and Can-Do List Writing Course (1 class per week)			
	Contents & Textbooks	Goal (Descriptive)	Examples that signify the achievement for each grade
Jr.1	<p>Teacher's Name</p> <p>John Presley</p> <p>WEAVING IT TOGETHER BOOK 2 (most chapters)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>paragraph structure : topic and closing sentences</li> <li>expanding into short essays of three or more paragraphs and speeches</li> <li>writing compare and contrast essays, how to introduce people and places, how to explain steps of a process</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Paragraph building will be central to the first term. Students will organize information into paragraphs and begin to learn how to connect several paragraphs smoothly</li> <li>Students will also present speeches they have written on a variety of topics, including people they have interviewed, places they have visited, and explanations of the step by step processes of various activities</li> </ul>
Jr.2	<p>Teacher's Name</p> <p>Adrian Thomas</p> <p>WEAVING IT TOGETHER BOOK 3 Chapters 1-4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>to teach students how to write a paragraph ( a reinforcement of what they learned in Jr 1.)</li> <li>to teach students the parts of an essay ( a reinforcement of what they learned in Jr-1)</li> <li>to teach students how to write specific types of essay - ex. descriptive, narrative</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students will learn that a paragraph should have a topic sentence, supporting sentences and a conclusion. They will have a lot of practice of doing this.</li> <li>Students will learn about thesis statements and how to write essay introductions, main body paragraphs and conclusions. Then they will practice by writing short essays on a variety of interesting topics.</li> <li>Students will study examples of particular types of essays and then practice by means of writing rough drafts, editing and writing final copies.</li> </ul>
Jr.3	<p>Teacher's Name</p> <p>Trevor Coombes</p> <p>WRITE ON Book 3 (Chapters 1-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>to teach students how to write 3-5 paragraphs on various topics</li> <li>to practice different types of register (formal/academic,casual)</li> <li>practice writing fluency</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students will write 3-5 paragraph essays on various topics in various formats (compare/contrast etc)</li> <li>Students will do numerous timed writing exercises</li> <li>Students will write one essay per term plus one exam</li> </ul>